

トヨタとスズキ、資本提携に関する合意書を締結

トヨタ自動車株式会社（以下「トヨタ」といいます。）とスズキ株式会社（以下「スズキ」といいます。）は、本日、自動運転分野を含めた新たなフィールドでの協力を進めていくために、両社の長期的な提携関係の構築・推進を目指すべく、資本提携（以下「本提携」といいます。）に関する合意書を締結いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

1. 本提携の目的

両社は、2016年10月12日に業務提携に向けた検討を開始して以降、具体的内容の検討を続け、本年3月20日、トヨタが持つ強みである電動化技術とスズキが持つ強みである小型車技術を持ち寄り、商品補完を進めることに加え、商品の共同開発や生産領域での協業等に取り組むため、具体的な検討に着手することを公表しました。

一方、自動車産業は今、環境に関わる規制強化に加え、異業種からの新規参入、モビリティビジネスの多様化など、これまでになく大きな変革期を迎えています。両社は、それぞれが得意とする技術・商品や既存の事業基盤の強化だけでなく、今まで通り競争者であり続けつつも、新たなフィールドでの協力関係を構築して深化させることにより、自動車産業を取り巻く新たな課題を克服することによって、持続的成長を実現していきたいと考えています。

具体的には、この変革期に共に挑むべく、両社は、自動運転分野を含めた新たなフィールドでの協力を進めていくために、両社の長期的な提携関係の構築・推進を目指します。

今回の合意書締結は、両社が真摯かつ丁寧に協議を行った成果を確認および表明するものであり、新たなフィールドにおける両社の今後の提携関係の構築・推進につながるものと考えています。

2. 本提携の内容

両社は、両社の長期的な提携関係の構築・推進のために、本提携に基づき、以下の内容で、相互に株式を取得する予定です。

トヨタは、スズキが実施する第三者割当による自己株式の処分により、スズキの普通株式24,000,000株（2019年3月31日現在のスズキの発行済株式総数（自己株式を除く。）に対する所有割合4.94%（小数点第二位未満は四捨五入）、総額960億円）を取得する予定です。

また、スズキは、市場買付により480億円相当のトヨタ株式を取得する予定です。

これらの株式取得は、海外の競争当局の承認が得られ次第実施する予定です。

以上